

千葉県建築文化賞

第15回表彰作品集

千葉県建築文化賞創設15周年記念特集



2008年

主催：千葉県 共催：社団法人 千葉県建築士会

千葉県建築文化賞について



千葉県知事 堂本 暁子

千葉県建築文化賞は、建築文化や居住環境に対する意識を高め、うるおいとやすらぎに満ちた快適な街づくりを推進することを目的に平成6年度に創設され、今年度で15回目の節目の年を迎えました。その間、多くの優秀な建築物の中から、累計で建築文化賞76点、建築文化奨励賞45点が選定され、千葉県の良好な街づくりに貢献しています。

千葉県建築文化賞が創設の意義を深めながら年々発展を遂げてまいりましたのも、多くの県民をはじめ、建築関係者、歴代の選考委員や関係団体の皆様のおかげであり、あらためて深く感謝申し上げます。

今年度は、57点の多彩な作品の応募の中から、建築文化賞5点及び建築文化奨励賞1点が選定されました。

地域住民が中心となって維持・保存に取り組んでいる歴史的町並み、街づくりの起点となるエレガントなオフィス建築、海沿いの自然の中で快適さを感じさせる学校宿舍、施設全体が訓練の場という考えに基づいた使いやすいリハビリテーション病院、環境負荷の低減を図るとともに先導的建築物となることを目指した会館、いずれも建築文化賞にふさわしい質の高い先導的な建築物です。

関係の皆様的情熱と新しい発想が込められたこれらの建築物が、地域社会の中に溶け込み、より良い街づくりの推進と今後の建築文化の発展に貢献するものと期待しております。

優れた建築物は、人々にうるおい、やすらぎを与える美しい街並みを実現するとともに、観光など地域の活性化に貢献する社会の共有財産です。また、高齢者や障害者など誰もが利用しやすい建築物、環境への負荷軽減を図った建築物の普及促進が課題となっている現在、高齢者、障害者や環境などに配慮した優れた建築物は、生活文化の新しいモデルとなり得るものです。

今後とも、県といたしましては、うるおいを持ち、誰もが安心して快適に暮らすことができる街づくりを610万県民の皆様とともに推進してまいりますので、皆様の御支援、御協力をお願いいたします。

結びに、選考委員をはじめ、関係団体の方々の御協力に感謝申し上げますとともに、受賞者の皆様の今後ますますの御活躍をお祈りしまして、あいさついたします。

平成21年3月

1

目次

千葉県建築文化賞について	1	君津駅南口トイレ	8
第15回千葉県建築文化賞選考経過と総評	2		
香取市佐原歴史的景観形成地区	3	千葉県建築文化賞創設15周年記念特集	
開成学園那古宿舍	4	千葉県建築文化賞の15年	9
竹中工務店東関東支店	5	千葉県建築文化賞過去表彰作品の紹介	10
船橋市立リハビリテーション病院	6	千葉県建築文化賞の実績 (応募点数・受賞作品数)一覧	17
千葉県自治会館	7		

第15回千葉県建築文化賞選考経過と総評

応募57点から6点入賞

(選考経過)

千葉県建築文化賞選考委員会委員長 北原 理雄

第15回千葉県建築文化賞は平成20年7月の委員会で募集要領を定め、8月から9月中旬まで応募を受け付け、総数57点の応募をいただいた。(部門別内訳は下表のとおり。)点数は昨年より4点増加し、2年連続の減少にひとまずの歯止めがかかった。また、今回は中小規模の作品を中心に佳品が目立った。経済情勢が急速に厳しさを増すなかにあつて、質の高い作品を生み出す関係者の熱意が、千葉県における建築文化を守り育てていくことを期待したい。

第1次選考はすべての応募用紙を一堂に展示し、その記載と写真をもとに2回の投票を行ったうえで、景観部門5点、ユニバーサルデザイン部門2点、環境部門4点を選んだ。次いで11月上・中旬の3日間をかけ、現地を訪問し、建築物の説明を伺いながら詳細に調査した。第2次選考は12月開催の委員会で、現地調査の報告を踏まえて再度投票を行い、討議を重ねながら優秀な建築物を選んだ。

募集部門	選考過程	応募点数	現地調査 (第1次選考)	受賞作品選定(第2次選考)	
				建築文化賞	同 奨励賞
景観に配慮した建築物		40	5	3	—
ユニバーサルデザインに配慮した建築物		4	2	1	1
環境に配慮した建築物		13	4	1	—
合計		57	11	5	1

(総評)

景観に配慮した建築物

景観部門では、今回から従来の対象に加えて、継続活動によって景観の維持・向上を実現している建築物群を応募対象とした。応募40点の内、新規の対象に該当する応募は1点であり、選考にあたっては両者を区別せず、魅力ある景観形成と地域の景観向上への寄与の観点から総合的に評価した。その結果、次の3点を建築文化賞に選定した。

「香取市佐原歴史的景観形成地区」は、地域住民が中心となって町並み保存に取り組んできた地区であり、既存建物の保存修復とそれらに合わせた新築を組み合わせ、連続した町並み景観が形成されている。

「開成学園那古宿舎」は、海岸の松林のなかに建てられた宿泊施設であり、2階外壁を板張りとし、水平性を強調したデザインがすっきりまとめられており、敷地外周のよしず塀とも相まって周辺の景観・自然環境とみごとに調和している。

「竹中工務店東関東支店」は、縦ルーバーを用いた端正なファサードが形成途上の市街地の景観を引き締め、ローコストで地方都市の景観形成に寄与する小規模オフィス建築のプロトタイプを提示している。

ユニバーサルデザインに配慮した建築物

この部門への応募は4点であり、昨年よりさらに2点減少した。近年では、本部門以外の応募作品にもユニバーサルデザインへの配慮が浸透しており、喜ばしいかぎりであるが、本部門自体への応募の少なさはやはり残念である。

建築文化賞の「船橋市立リハビリテーション病院」は、病床200床の大規模な施設だが、病院全体を訓練の場とするコンセプトに基づき、患者エリアの隅々まで車椅子利用や介助者同伴の行動を前提として計画している。敷地外周の庭や遊歩道も、建物内部と一体にきめ細かく配慮されている。

奨励賞の「君津駅南口トイレ」は、やや雑然とした駅前広場にあつて、昼夜を問わず明るく誰もが利用しやすい多目的な場を提供している。

環境に配慮した建築物

この部門の応募は13点であり、数は昨年並みだが、今回は公共施設や住宅のみでなく、幅広い用途の建築物において環境への興味深い配慮が見られた。

建築文化賞の「千葉県自治会館」は、開閉ダンパー付ダブルスキンの外壁に自動制御式電動ブラインド、自動調光システムなどを組み合わせることにより、同規模一般施設に比べて30%程度のエネルギー削減を見込んでいる。官庁・業務街の交差点に建つ透明感の高いデザインも高く評価された。

建築文化賞

景観に配慮した建築物

活動団体：特定非営利活動法人

小野川と佐原の町並みを考える会

建築物群の所在地：香取市佐原イ1901番地外

伝統が支える明日の町づくり

香取市佐原歴史的景観形成地区



忠敬橋から小野川上流

この地区からはこれまでに個別の建築について数回の受賞があったが、今年度は町並み景観をつくる建築群としての応募である。かつて佐原は利根川水運による商業都市を繁栄させた。その面影を残すこの地区の景観保存を目的に、地元住民が平成3年にNPOを立ちあげて活動を始め、その熱意が次第に実り、国から重要伝統的建造物群保存地区の指定も受け、これまでに修理修景150件余の実績がようやく建築群となって伝統的町並みを再生させた。

軒高や屋根勾配を揃える。瓦屋根の復活。ガラス戸を連格子と組み合わせる。スチールサツシュや新建材も控えめに。再生手法の好例を手本として、町並み再生は軌道に乗ったようだ。街の景観は営まれる人々の暮らしの姿を写す。関東では川越に見るように、街の生業に変化があれば、伝統的町並み保存の行方は観光資源への転化が必然となるから、

商業都市から観光都市への変化を促されることになる。

佐原は都心から日帰りできる距離も幸いして、休日に集まる環境客は次第に増え続ける昨今である。しかし、観光目的の集客が進むと、要求される都市機能は変化する。車道や駐車場、休憩や飲食施設、案内サインやトイレなどの公共施設の整備、土産品開発も急がれるだろう。

水郷佐原は、広域観光を視座にいよいよ次段階への正念場を迎えている。

(野口 瑠璃)



香取街道沿いの町並み



樋橋と伊能忠敬旧宅

(撮影／高橋賢一)

建築主：学校法人開成学園
 設計：大成建設株式会社一級建築士事務所
 施工：大成建設株式会社千葉支店
 所在地：館山市那古

波の音が聞こえる自然と調和の施設

開成学園那古宿舎



海からの遠景

館山湾の防潮堤に面し幅5~6mの砂利道を挟んだ自然の中に建つ、1階がRC造、2階が木造の夏季海水浴のための学校施設である。2階が生徒、教員用の居住スペース、1階がホール・厨房・食堂等のスペースとなっている。2階の居住スペースからは館山湾が目前に広がり各室とも眺望を楽しむことが出来、西東側に大きく開いた開口部から夏場の海風を取り込むことができる。「水泳学校」のための施設として1階がRC造のラーメン構造であり津波、地震に対し安全性を確保している。2階木造部分の大スパンの構造は、構造用合板を耐震要素とし、梁せい450の集成材を910ピッチに配置している。

1階ホール出入口は海岸に面し、屋外に洗い場とシャワーの施設を設けてあるが屋根も無く開放的である。2階の外壁は杉板の横張りに、薄い黒色の塗装で木製の雨戸とともに周囲の環境を乱さず海岸に平行して建つ大きな建物のわりには目立たずシックに感じた。敷地の囲いも2m程の女竹のヨシズで造られていて昔の海岸沿いの松林と民家を連



前庭からの外観

想した。建物の色づかいと共に景観に配慮し設計されたことに敬意を表したい。やがて敷地内の松の木が成長し子供達が木陰で大勢集まり遊ぶ姿を想像すると楽しくなる。この施設は夏季だけの使用のようだが、都会の子ども達が四季を通し利用されることを期待したい。委員の意見として夏季だけの施設の利用ではもったいないという意見があった。

周辺の環境は自然の残る海岸沿いのあまり開発されていない場所で、これから景観を考えながら自然の緑と調和のとれた「まちづくり」の整備に期待したい。
 (青柳英俊)



海への眺望(2階居室より)

(撮影/三輪晃久写真研究所)

建築文化賞

景観に配慮した建築物

建築主：株式会社竹中工務店
設計：株式会社竹中工務店
施工：株式会社竹中工務店
所在地：千葉市中央区中央港1-16-1

端正な立面のリズムが心地よい低層オフィス

竹中工務店東関東支店



透明感あるシンプルでエレガントなファサード

モノレール千葉みなと駅前に平成15年に建てられた大手建設会社の地方支店。地方のオフィス建築では、一般に短期的な経済効率を追うあまりに、景観を形成しているという自覚のみられないものが少なくない。こうした状況にあって、この建物は経営的に成り立つ現実的なコストでも十分質の高い建築を実現できることを示している。

鉄骨造(一部RC造を併用)2階建て、延床面積1,000-1,500㎡程度の中小規模のオフィス建築で、横長の両立面を覆うシンプルなアルミフィンのデザインが、外にも内にも効いている。外に対しては端正な緊張感のあるリズムで街の景観に寄与する半面、内に対しては樗越しの木漏れ日をもう一段和らげオフィス空間をやさしい光で満たしている。

透明感の高い長手ファサードに対して短手ファサードを重厚なRC壁とすることにより短手方向の剛性を確保する一方、2階では16mスパンの開放的な平面を実現し

ている。構造と意匠の整合性が高く明解なデザインとなっている。また、屋根の水勾配を考慮してわずかにRC壁の上端を斜めするなどデザインの細やかさが完成度を高めている。

駅前という立地ではあるが、車によるアクセスが多い地区であり、規模・構造形式ともロードサイド型オフィス商業系施設のプロトタイプとして一般化可能と思われる。ロードサイドは今や地方都市の実質的な表玄関なはずなのに、派手な看板を冠した粗悪な使い捨て建物が目立つ。美しい景観とは最も縁遠い難題の渦中に一石を投じてほしいという思いを、本作品受賞に託したい。(岡部明子)



昼夜のストリートスケープに貢献するファサード・ランドスケープ



街並の一部としての内部空間

(撮影/新建築社写真部)

建築主：船橋市
 設計：株式会社日本設計
 施工：奥村・木村・京成特定建設工事共同企業体
 所在地：船橋市夏見台4丁目26番1号

住みなれた地域で再び輝いて暮らす

船橋市立リハビリテーション病院



東側外観 遊歩道より望む

船橋市民の急性期医療を担う市立船橋医療センターに隣接、緑豊かな敷地に建設された回復期リハビリテーション専門病院、市民や医師会からの要望を受けて公設民営で実現した全国的にもめずらしい施設である。

エントランスを入ると、明るく広々としたロビーに面して、美しく機能的なデザインの車椅子や福祉機器の展示された売店、折々にコンサートが開かれるというレストランも、やや無機質な硬い表情の外観、玄関周りの雰囲気とは異なり、ほっと気持ちや和む。ロビーからひろい廊下をまっすぐに進むと、南面からの陽光をいっぱいに取り入れた訓練室に導かれる。リハビリテーションは訓練ではなく『生活の再建』と、一日の生活行為、さまざまな生活場面に対応する理学療法、作業療法、言語療法が、365日絶え間なく提供されている。

病棟は、34床を1ユニットとして専門職のチームが配置され、自宅での生活を目標としての訓練ができるよう、トイレ(右・左勝手)、浴室(障害の違いに対応可能

な多様な形式)、扉(自閉式)等に細やかな配慮がされている。医療の場であるが、そこは『病室』というよりは、『暮らしの場』として心配りが感じられる。各ユニットの食堂でつるぐ人、アルコールで談笑する家族の姿が印象に残った。

保健・福祉・医療制度の変革期に、高齢になっても、障害を持ったとしても、個の尊厳が保たれ、安心して地域で暮し続けるために、この施設が市民優先の船橋市の中核施設として充実するばかりではなく、近隣市町の好モデルになることを期待したい。

(夏目 幸子)



南側外観 リハビリ庭園より望む



エントランスモール

建築文化賞

環境に配慮した建築物

建築主：千葉県市町村総合事務組合

設計：株式会社日建設計

施工：鹿島・旭特定建設工事共同企業体

所在地：千葉市中央区中央4丁目17番8号

開かれた建築を可能にした、優れたファサード環境デザイン

千葉県自治会館

7

本会館は千葉県における自治体(市町村)の交流拠点である。千葉市都心のシビックコアの一角を占め、その意味や役割からも開かれた象徴的な建築であることが求められた。東・南・西の三方が街路に面するという敷地の立地条件に恵まれ、その要求に応えられる解放的な構成が可能であった。この開放性をガラスの立面によってさらに強化することによって、「街に開かれた施設」となることが徹底して意図された。そのこと自体はガラス建築の普及が進んだ今日では特筆することではない。むしろ問題なのは、ガラス建築の表皮がもたらす一方の負の側面、すなわち室内熱環境負荷の増大とそれに伴うエネルギー消費や、内部からの視覚的不安感、そしてメンテナンスである。

設計者はこれまで長年にわたって組織的にその解決に取り組み、さまざまな事例で優れた解法を試みてきた。それらの経験に基づき、本施設では幅70cmのダブルスキンと、その内部で自然換気ができる一層ごとの庇による区画を重層させ、極めて効率の良い、しかも利用者に不安感を与えない手法を開発し適用した。その効果の一端は実測に基づく研究成果に示されているが、利用者からの好意的な感想からも窺い知ることができる。



ダブルスキン内部風景



南側外観

過剰な環境技術を誇らしげに顕示する建築の多いなかで、本会館では比較的地味だが居住性とエネルギー負荷低減を両立することと、施設に希求された建築表現の実現に重点が置かれた。こうした計画・設計上の取り組みには大変好感が持てる。それだけに、今後の継続的な事後検証と利用者とのコミュニケーションを通じて、意図された会館の機能や性能を持続的に発揮してほしいと願いたい。(岩村和夫)



街に対して開かれたエントランスホール

建築主：君津市
設計：有限会社荒井設計事務所
施工：株式会社新昭和
所在地：君津市中野地先

建築文化奨励賞

ユニバーサルデザインに配慮した建築物

明るいトイレが駅前空間創りの先導役

君津駅南口トイレ

JR君津駅周辺の住宅地開発は、近年の経済情勢の影響もあるのかやや遅滞しているようだ。

その結果、まだ街区もまばらで乗降客も少ない印象を受ける駅だが、駅前にはまさに街の玄関口、その空間は公共機能充足に加え、街のイメージ創出も求められる。

そこでまず必要となる清潔で安全な公共トイレだが、一般的にはその出入を人目が避けられるよう、目立たぬ配置や、目隠しボードが工夫されることも多い。という常識で見ると「これがトイレ」と驚くほどカラフルで明るいこのトイレは、まだ未整備の駅前であってシンボルのように目立つ存在だ。

中庭のゆとりもある建築デザインはシンプルで好印象、夜間照明の明るさも、保安もかねて駅前空間演出までを引き受けている。

屋外の公共空間は、それを構成する各施設の事業主体が異なるため、相互のデザイン調整が望まれる。特に先行して建設される施設は、その後の各施設デザインへ影響を与えることになる。

トイレのデザインが駅前空間の先導役とはユニークな例を生むことになりそうだ。

(野口瑠璃)

(撮影/ (有) 多摩フォート)



広場からの夜間全景



待合いスペースと通路

選考の基準

- 千葉県内において完成(増築、改築、リフォームを含む)し、現在良好に管理され、また、使用されている建築物(群)で、この表彰趣旨に沿っているもの。
- 機能性やデザインなど総合的にみて優れた建築物であり、次のいずれかに該当するもの。
 - ①地域の特性や周辺環境に十分配慮され、建築物(群)と外部空間が一体となって魅力ある景観を創出し、地域の景観形成に寄与しているもの。
 - ②3年以上の創意工夫に富んだ継続的な活動により上記①の維持向上がなされているもの。
 - ③誰もが公平に、安全に、安心して、そして快適に利用できるよう配慮され、社会への参加や日常生活が容易に出来るような環境整備がされているもの。
 - ④エネルギーや資源の高度な有効利用を図ったり、自然を取り入れた建築の工夫や、地域の生態環境や防災に寄与する取り組みなどによって地域環境と親和させるなど、人と環境に対して健康快適な建築環境の向上について配慮されているもの。
- 建築基準法等の各法令に適合しており、かつ近隣等との紛争が生じていないもの。

千葉県建築文化賞選考委員会

委員長 北原 理雄：千葉大学大学院教授

委員 青柳 英俊：社団法人千葉県建築士会会長

副委員長 岩村 和夫：武蔵工業大学環境情報学部教授

委員 岡部 明子：千葉大学大学院准教授

委員 夏目 幸子：建築家・千葉県医療技術大学校講師

委員 野口 瑠璃：工業・環境デザイナー

【敬称略 委員は五十音順】

第15回千葉県建築文化賞にご応募いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。応募総数57点の中から5点が千葉県建築文化賞、1点が千葉県建築文化奨励賞に選定されましたが、応募作品はすべて、優れた特徴をもった質の高い作品でした。

作品に携われた皆様に敬意を表し、今後ますますのご活躍を期待しております。

(千葉県建築文化賞選考委員会事務局)

千葉県建築文化賞創設15周年記念特集

千葉県建築文化賞の15年

千葉県建築文化賞選考委員会委員長 北原 理雄

千葉県建築文化賞が創設されたのは、バブル景気の余韻が冷めやらぬ1994年であった。1960年に230万人だった千葉県の人口は、30年の間に2.5倍に跳ねあがった。この間、県内の建築活動は急増するニーズへの対応に追われていたが、1990年代に入ると人口の伸びが緩やかになり、基盤の充足も進み、公共・民間いずれの領域においても建築の質的向上への関心が高まっていた。

建築文化賞は、このような社会情勢を受け、すぐれた建築物を表彰することにより、建築文化、居住環境に対する県民の意識を高め、うるおいとやすらぎに満ちた快適な街づくりを推進することを目的に発足した。

当初の建築文化賞には「景観に配慮した建築物」と「高齢者・障害者に配慮した建築物」の2部門が設けられた。これは、急速な開発によって混乱した景観を整えることと、効率優先の環境を生活者重視の環境に切り替えることが、緊急の要請になっていたためである。

その後、1998年に「環境に配慮した建築物」の部を設け、2005年に「高齢者・障害者に配慮した建築物」を「ユニバーサルデザインに配慮した建築物」の部に改めた。これらは、地球環境問題への関心が高まり、より広範な利用者への配慮が求められるようになった社会的要請に応えたものである。

建築文化賞の応募件数は、第1回の192件を除いて、ほぼ60～100件の間で推移してきた。しかし、近年は減少傾向にあり、最近2回は60件を割り込んでいる。背景には景気低迷や建築基準法改正の影響があるが、県内の建築水準はけっして落ちていないので、建築文化のさらなる振興のためにも、多くの応募をお願いしたい。

景観に配慮した建築物の部は、例年、応募件数の6、7割を占めている。初期の応募は民間の豪華な建物が多かったが、1990年代末から質の高い公共施設の応募が目立つようになった。近年は、公共・民間ともに、中小規模の建築物で、地域の景観形成にこまやかな心配りをしている例が印象に残る。

また、景観部門では本年度から、継続活動によって景観の維持・向上を実現している建築物群を対象に加えた。その第1回として香取市佐原歴史的景観形成地区を建築文化賞に選定したが、これを契機に各地で景観形成が点から線、そして面へと展開していくことを期待している。

ユニバーサルデザインに配慮した建築物の部は、当初、高齢者・福祉施設の応募が多く、一般の建築物では、単に段差をなくし、斜路や手摺りをつけるなど、マニュアルどおりの設計をただけの例が目についた。しかし、近年はユニバーサルデザインへの配慮が行きわたり、高齢者・福祉施設では“住まい”として高い水準を達成している例が増えている。応募件数の低迷は、ユニバーサルデザインがあたりまえのものになったことの反映であろう。しかし、一桁の応募件数はやはりさびしい。

環境に配慮した建築物の部は、安全安心で健康快適な性能を備えた建築物を整備促進することにより、地域環境の保全をはかることを目的に設けられた。建築物である以上、技術的解決が必要であることはいままでもないが、授賞作品を振り返ると、過度な技術的解決より、自然との共生をはかる建築物に印象深い例が多い。

この15年、社会情勢はめまぐるしく変転した。いま100年に一度といわれる世界的不況のなかで、建築をとりまく状況は一段ときびしいが、このような時代にこそ質の高いストックを形成することが重要である。千葉県建築文化賞が、今後とも千葉県における建築文化を守り育てる一助となることを願っている。

千葉県建築文化賞過去表彰作品の紹介

第1回 (1994年)



撮影/浅井慎平

海岸美術館 (景観)

建築主:(株)モスフードサービス
設計:(株)石井和雄建築研究所
施工:大成建設(株)千葉支店
所在地:南房総市千倉町川戸柏尾550

1990年代に入ったばかりの頃、変わりゆくこの国の風景に疑問を抱いていた。人間は生きていくのに人工を選択したのだが、自然との調和を忘れたのではないのだろうか。海岸美術館は自然と人工の調和のシンボルとして「美術館のある風景」を目的に造られた。幸いそのことは理解され建築文化賞を受け、その後もその空間は成長を続けている。あらためて感謝をし、今後も一層の支援を願っている。
(浅井慎平)



南花園の家 (景観)

建築主:K氏
設計:(株)カトーアソシエイツ
施工:三建建築創作(株)
所在地:千葉市花見川区南花園



竹中工務店 技術研究所 (景観)

建築主:(株)竹中工務店
設計:(株)竹中工務店
施工:(株)竹中工務店
所在地:印西市大塚1丁目5-1



鴨川市総合 保健福祉会館 (高齢者・障害者)

建築主:鴨川市
設計:(株)榎本建築設計事務所
施工:清水建設・富士建工業共同企業体
所在地:鴨川市八色887-1



中銀 ライフケア白井 (高齢者・障害者)

建築主:中銀マンション(株)
設計:(株)新居千秋都市建築設計
施工:(株)フジタ東京支店
所在地:白井市堀込



市川の家 (高齢者・障害者)

建築主:K氏
設計:
KATO建築設計室
施工:
(株)第一工務店
所在地:
千葉県市川市新田

撮影/秋山実

第2回 (1995年)



千葉市立打瀬小学校(景観)

建築主:千葉市
設計:シーラカンズ

施工:銭高・松栄共同企業体
所在地:千葉市美浜区打瀬1丁目

新しい街が生まれ、同時に千葉市立打瀬小学校が1995年に完成した。オープンスクール形式、低層街区型、街に開かれた学校は熱心な教育もあって最大限に活かされ、この学校の魅力が新たな住人を引き付け、街は大きく発展している。打瀬小学校での提案は、この街の小学校の伝統として、3校目の美浜打瀬小学校まで引き継がれている。
(シーラカンズ)



千葉市美術館・ 千葉中央区役所(景観)

建築主:千葉市
設計:(株)大谷研究室
施工:清水・西松・ナカノ・
三菱共同企業体
所在地:千葉市中央区中央3丁目



パティオス (景観)

所在地:千葉市美浜区打瀬2丁目



雇用促進事業団ポリテクセンター 千葉研修寮(高齢者・障害者)

建築主:雇用促進事業団千葉職業能力開発促進センター
設計:(株)榎本建築設計事務所
施工:長谷工・青山建設共同企業体
所在地:千葉市若葉区愛生町165-2



撮影/廣田治雄

厚生年金 サントール千葉 (高齢者・障害者)

建築主:千葉県
設計:(株)日本設計
施工:安藤・三井・福田・鈴木建設
工事共同企業体
所在地:千葉市中央区仁戸名682-67



釘持邸 (高齢者・障害者)

建築主:K氏
設計:加瀬澤建築設計室 加瀬澤文芳
施工:大坪清次
所在地:木更津市高砂

第3回 (1996年)



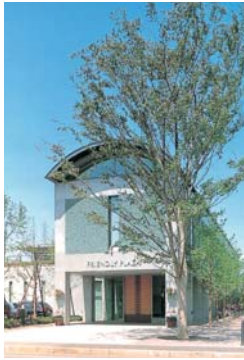
千葉県立幕張総合高等学校
(景観)

建築主:千葉県
設計:(株)榎本建築設計事務所
施工:戸田・鉄建・富士工・石川特定建設工事協同企業体
奥村・新日本・式田特定建設工事共同企業体
松栄・杉田特定建設工事共同企業体
所在地:千葉市美浜区若葉3-1-1

撮影/新建築写真真部

この学校のもっとも象徴的な部分は、多様性を持ったループ型の平面上に展開する、大胆な開口や吹き抜けによる断面的な透過性の高さではないかと思う。いわば横にも縦にも繋がり合った連係的な構成によって、その空間の中に映り込む生徒たちの賑わいや自由・活発な学校環境を直感的に読み取ることができる。

(榎本建築設計事務所)



撮影/エスエス東京石井哲夫

印西市中央駅北
コミュニティセンター(景観)

建築主:印西市
設計:(株)日建設計
施工:住友建設(株)
所在地:印西市木刈4-3



千倉・海の住宅(景観)

建築主:S氏
設計:(有)黒木美建築研究室
施工:加藤工務店 加藤 清
所在地:南房総市千倉町瀬戸



撮影/ABE工房

西川邸(高齢者・障害者)

建築主:N氏
設計:(株)榎本建築設計事務所
施工:新日本建設(株)
所在地:市原市菊間



船橋の家(高齢者・障害者)

建築主:N氏
設計:(有)アトリエCOSMOS
施工:(有)持井工務店
所在地:船橋市高根台

第4回 (1997年)



かずさアカデミアホール
(景観)

建築主:千葉県
設計:(株)坂倉建築研究所
施工:(株)竹中工務店・三井建設(株)・(株)越高組
所在地:木更津市矢那1637

ここ5年間の年平均利用件数は約1360件、開館から9年を経た平成17年度には累計1万件を超えるなど、多くの市民や産学官の方々に利用され、国際会議や学会を通じて産業振興に、音楽コンクールやセミナーを通じて地域文化の振興に貢献している。平成16年にはその利用状況が評価され、第9回公共建築賞優秀賞を受賞している。

(坂倉建築研究所 横田重雄)



大多喜町立
大多喜小学校
(景観)

建築主:大多喜町
設計:(株)榎本建築設計事務所
施工:(株)屋代工務店・式田建設工業(株)
所在地:夷隅郡大多喜町大多喜12



撮影/ナカサ&パートナーズ 繁田諭

和洋女子大学
佐倉セミナーハウス(景観)

建築主:学校法人和洋学園
設計:ナンシー・フィンレイ+千葉学
/ファクターエヌアソシエイツ
施工:戸田建設(株)
所在地:佐倉市ユーカリが丘5-4-1



撮影/小林浩志/スパイラル

木更津の家(大澤邸)
(景観)

建築主:O氏
設計:濱田昭夫
(TAC濱田建築設計事務所)
施工:(株)新昭和
所在地:木更津市清見台

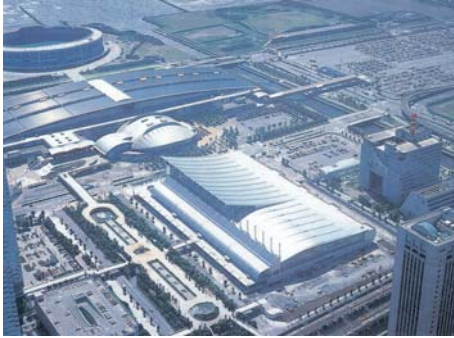


撮影/(有)アラ井建築写真事務所

浦安市
当代島公民館
(高齢者・障害者)

建築主:浦安市
設計:(株)久米設計
施工:西松建設(株)
所在地:浦安市当代島2-14-1

第5回 (1998年)



**日本コンベンションセンター
国際展示場9～11ホール**
(景観)

建築主:千葉県
設計:(株)横総合計画事務所
施工:清水建設(株)・(株)大林組・三井建設(株)
所在地:千葉市美浜区中瀬2-5

既存施設と形態的連続性をもったフォルムで設計することにより、幕張メッセ全体に調和を生み出し、日々成長していく「幕張新都心」のランドマークとしての役割を果たしてきた。開業20周年を迎え、今後とも我が国を代表するコンベンション施設として、一層の発展が期待されている。(千葉県)



撮影/富田 治

志方邸(景観)

建築主:S氏
設計:アーキテクトファイブ
堀越英嗣+松岡拓広+川村純一+十城戸崎博孝
施工:(株)屋代工務店
所在地:いすみ市呷町



鬼越の家(環境) 撮影/秋山 実

建築主:N氏
設計:加藤武志建築設計室
施工:(株)中川工務店
所在地:市川市鬼越



すだれの家(環境)

建築主:N氏
設計:中野恒明+アプル総合計画事務所
施工:(株)岡本工務店
所在地:浦安市入船

撮影/(株)アプル総合計画事務所

第6回 (1999年)



印西市ふれあい文化館
(景観)

建築主:印西市
設計:(株)石本建築事務所

施工:鹿島建設(株)東京支店 千葉営業所
所在地:印西市原3丁目4番地

千葉ニュータウン印西牧ノ原に位置する、公民館・図書館・児童館・老人福祉センターの4つの施設からなる複合施設。施設中心に配置されたガラスのアトリウムを施設全体のエントランスホールとし、世代を超えた多種多様な出会いと交流を、目的に応じた学習の場として地域のコミュニケーションの拠点となっている。(石本建築事務所)

撮影/エスエス東京



アミューゼ柏
(景観)

建築主:柏市
設計:(株)日本設計
施工:東急建設(株)東関東支店・
(株)長谷川工務店・齋藤建設(株)
所在地:柏市柏6丁目2-22

撮影/ナカサ良パートナーズ



撮影/夏目勝也

指宿邸
(高齢者・障害者)

建築主:Y氏
設計:夏目設計事務所
施工:(有)木源ハウジング
所在地:習志野市大久保



撮影/北爪幸雄

**社会福祉法人希桜会
ケアハウス
サニー秋桜**
(高齢者・障害者)

建築主:社会福祉法人希桜会
設計:(株)榎本建築設計事務所
施工:(株)鴻池組 東京本店
所在地:千葉市若葉区東寺山町2-6



**君津市保健福祉センター
ふれあい館(環境)**

建築主:君津市
設計:(株)坂倉建築研究所
施工:新日本製鐵(株)・大野屋建設(株)
所在地:君津市久保2-13-1



撮影/松浦健明

ガーデンプラザ新見川(環境)

建築主:鹿島建設(株)
設計:鹿島建設(株)一級建築士事務所
施工:鹿島建設(株)東京支店 千葉営業所
所在地:千葉市花見川区瑞穂

第7回 (2000年)



撮影／エスエス東京

キッコーマン野田本社屋
(景観)

建築主：キッコーマン株式会社
設計：(株)石本建築事務所

施工：(株)竹中工務店東関東支店
所在地：野田市野田250番地

三百数十年の歴史を持つ醤油醸造企業の本社ビル。建物を日本の伝統的な分棟構成で配置し、隣接する蔵の意匠を基調に、低くおさえた陸屋根と水平に連続する開口部、庇や水平ルーバーなどによって街並みに調和させている。事務所棟の南北面採光、日射制御のためのルーバー、エアフローカーテンウォール、自然通風、自動調光など、「人と環境に優しい施設」を実現している。
(石本建築事務所)



撮影／栗原写真事務所

しゅはり本店
(景観)

建築主：株式会社しゅはり
設計：株式会社スタジオ宙
施工：株式会社しゅはり
所在地：香取市佐原イ531番地



撮影／黒川スタジオ

風の村
(高齢者・障害者)

建築主：社会福祉法人 たすけあい倶楽部
設計：(株)双立デザイン設計事務所
施工：佐藤工業(株)関東支店
所在地：八街市東吉田912-8



撮影／篠澤建築写真事務所

日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所(環境)

建築主：日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所
設計：株式会社日建設計
施工：(株)熊谷組・大成建設(株)・(株)竹中工務店[共同企業体]
所在地：千葉市美浜区若葉3丁目2-2



**日本大学理工学部
船橋校舎3号館**
(環境)

建築主：日本大学理工学部
設計：大成建設(株)一級建築士事務所
施工：大成建設(株)千葉支店
所在地：船橋市習志野台7-24-1



撮影／イースタン写真富岡淳

ば・る・るプラザ千葉(当時)
(景観)

建築主：郵政省(当時)
設計：郵政省大臣官房建築部(当時)
施工：(株)奥村組東京支社
共立建設(株)東京支社
東鉄工業(株)[共同企業体]
所在地：千葉市中央区富士見1丁目3-2

第8回 (2001年)



撮影／澤田勝良

ディアフレンズ美浜
(高齢者・障害者)

建築主：社会福祉法人 春陽会
設計：(株)榎本建築設計事務所

施工：矢作建設工業株式会社東京支店
所在地：千葉市美浜区磯辺2-21-1

外装にあえて木を多用することは、自然素材の持ち味を通して内外空間や街並みの中にやさしさ・温かみと同時に、経年とともに緩やかに移りゆく様相を表すことであった。現在では竣工当時の木の真新しさと入れ替わるように、意義深い生活環境として地に根が大きく広がり、充実した時を刻み続けている建築と思う。
(榎本建築設計事務所)



**大多喜町立
老川小学校**
(景観)

建築主：大多喜町
設計：(株)榎本建築設計事務所
施工：山本建設株式会社
所在地：夷隅郡大多喜町小田代524-1



**千葉市立
海浜打瀬小学校**
(景観)

建築主：千葉市
設計：(株)桑田建築設計事務所
施工：新日本建設株式会社
松栄建設株式会社[共同企業体]
所在地：千葉市美浜区打瀬3丁目地内



ヴォーネン本塾
(高齢者・障害者)

建築主：社会福祉法人 六親会
設計：森田建築設計事務所
施工：株式会社 石川組
所在地：印旛郡本塾村笠神1620



撮影／エスエス東京
横瀬博一

エコビレッジ松戸(環境)

建築主：財団法人 電力中央研究所
設計：大成建設(株)一級建築士事務所
施工：大成建設(株)千葉支店
所在地：松戸市小金原1-19-1



周郷建設新社屋(環境)

建築主：S氏
設計：(株)川口建築設計事務所
施工：周郷建設株式会社
所在地：八千代市大和田新田406

第9回 (2002年)



撮影/中尾研二

木と住まいの情報館 モクイチ (環境)

建築主：千葉県木材市場協同組合
設計：(株)アルセット建築研究所
施工：古谷建設(株)(共同企業体)・吉岡建設(株)(共同企業体)
所在地：東金市山田800

地元木材情報発信基地として魅力ある空間を持ち、高耐震、高耐久、高性能で汎用性の高い木造建築モデルを実現した。県産杉を断面構成等の工夫で構造材として活用可能とし、地域への愛着と高い技術を持つ地域大工等が建設に参加できる金物を用いない木組みの構造・構法とした。昨年は2400名弱の利用者があり、木組みや多様な空間活用に興味を惹かれつつ活発に利用されている。

(千葉県木材市場協同組合)



撮影/小川泰祐

幕張ペイタウン・コア (景観)

建築主：千葉県企業庁
設計：(株)設計・計画 高谷時彦事務所
施工：新日本建設(株)
所在地：千葉市美浜区打瀬2-13



撮影/大川澄建築写真事務所

東金市保健福祉センター (景観)

建築主：東金市
設計：(株)日本設計
施工：鹿島建設(株)東京支店
所在地：東金市田間421



撮影/小島広行

山武みどり学園 (高齢者・障害者)

建築主：社会福祉法人 翡翠会
設計：(株)榎本建築設計事務所
施工：戸田建設(株)千葉支店
所在地：大網白里町大網5347



撮影/平井広行

日本大学理工学部 テクノプレース15(環境)

建築主：学校法人 日本大学
設計：日本大学理工学部 坪山幸平
株式会社 梓設計
施工：西松建設株式会社東関東支店
所在地：船橋市習志野台7-2-4-1

第10回 (2003年)



旧 水田家住宅(景観)

建築主：学校法人城西大学
設計：大田建築設計研究所
施工：(株)大林組
所在地：鴨川市西字西平339-1

登録有形文化財として登録された旧水田家住宅は、戦後壊滅的な経済状況にあった我が国を、政治家として経済の再建・教育への支援に一心に取り組む、日本社会の飛躍的な復興に全力を注ぎ、また、昭和40年に埼玉県坂戸の地に城西大学を創立した故水田三喜男の生家である。その創立者の偉業をたたえ、後世にその功績を永遠に伝えるために生家を修復・保存することとなった。地元鴨川市をはじめ、各地から多くの方々が生家を訪れている。

(学校法人城西大学)



撮影/斎部功

栄町総合交流拠点 ドラムの里(景観)

建築主：栄町
設計：(株)環都市・建築計画事務所
施工：共立工業(株)
所在地：印旛郡栄町龍角寺1039-1



本埜ファミリア館 (景観)

建築主：本埜村
設計：(株)榎本建築設計事務所
施工：古谷建設(株)
所在地：印旛郡本埜村滝野3-4



撮影/夏目勝也

小規模高齢者複合施設じゅらく (高齢者・障害者)

建築主：社会福祉法人 阿育会
設計：夏目設計事務所
施工：常総開発工業(株)佐原支店
所在地：香取市佐原本323-2



高齢者福祉施設 杜の家 (高齢者・障害者)

建築主：社会福祉法人 豊和会
設計：(株)榎本建築設計事務所
施工：佐藤工業(株)千葉営業所
所在地：香取市岩部869-60

第11回 (2004年)



**四街道市南部総合福祉センター
「わろうべの里」**
(高齢者・障害者)

建築主：四街道市 施工：戸田建設株式会社 千葉支店
設計：株式会社佐藤総合計画 所在地：四街道市和良比635-4

「わろうべの里」は、オープンして今年で6年目を迎えますが、市民が自由に参加できるワークショップによるアイデアを取り入れて設計した施設です。「誰でも、いつでも、ひとりでも、子どもからお年寄りまで、ふらっと立ち寄り、心地よく使える場所にしよう」というコンセプトどおり、年間10万人あまりの来館者が、それぞれの目的をもって交流活動を繰り広げています。(佐藤総合計画)



流通経済大学新松戸キャンパス (景観)

建築主：学校法人 日通学園
設計：清水建設株式会社一級建築士事務所
施工：清水建設株式会社 千葉支店
所在地：松戸市新松戸3-2-1



三和保健福祉センター (高齢者・障害者)

建築主：市原市
設計：株式会社榎本建築設計事務所
施工：株式会社鈴木組
株式会社本吉工務店
所在地：市原市海士有木225-4



みつわ台の家 (環境)

建築主：I氏
設計：株式会社結設計
施工：佐藤建設工業株式会社 東京支店
所在地：千葉市若葉区みつわ台

第12回 (2005年)



撮影／新建築社

マップチモーター株式会社本社棟 (環境)

建築主：マップチモーター株式会社 施工：清水建設株式会社 千葉支店
設計：日本アイ・ピー・エム株式会社 所在地：松戸市松飛台430
設計：株式会社日本設計

ダブルスキンによる空調負荷低減+自然通風、床吹出空調+タスク空調により、開放感溢れる高天井の執務空間においても十分な省エネルギーを実現しました。また、化粧材料を極力避け、躯体そのものを仕上げとすることや、美しく年を取る本レンガ積み外装、汚れにくいディテール、自然に任せたランドスケープなどにより、メンテナンスフリーを推進し、100年建築を目指しました。(日本設計)



撮影／三輪見久写真研究所

**城西大学
鋸南セミナー
ハウス (I期)**
(景観)

建築主：学校法人城西大学
設計：株式会社久米設計
施工：清水建設株式会社 千葉支店
所在地：安房郡鋸南町下佐久間字西田子道上1510-2



**東京理科大学
薬学部
新キャンパス (景観)**

建築主：学校法人東京理科大学
設計：株式会社松田平田設計
施工：清水建設株式会社
所在地：野田市大字山崎北亀山2668他



撮影／三輪見久写真研究所

**AIR HUT
(えあはっと)**
(景観)

建築主：M.O氏 Y.T氏
設計：大成建設株式会社一級建築士事務所
施工：大成建設株式会社千葉支店
所在地：流山市



撮影／三輪見久写真研究所

**特別養護老人ホーム
市原園・軽費老人ホーム
湊泉荘 (ユニバーサルデザイン)**

建築主：社会福祉法人 昭和村
設計：株式会社榎本建築設計事務所
施工：西松建設株式会社東関東支店
所在地：市原市万田野732-6



撮影／三輪見久写真研究所

**日本大学理工学部
船橋校舎14号館 (環境)**

建築主：学校法人日本大学
設計：株式会社日本設計
施工：大成建設株式会社千葉支店
所在地：船橋市智志野7-24-1

第13回 (2006年)



東京大学柏キャンパス新領域環境棟
(環境)

建築主：国立大学法人 東京大学
(計画コンセプト・建築設計ディレクション：大野秀敏+東京大学大野研究室)
設計：日本設計・大成建設設計共同企業体
施工：大成建設株式会社千葉支店・株式会社関電工千葉支店
所在地：柏市の葉5-1-5

東京大学柏キャンパスは、本郷、駒場とともに東大の三極構造の一極を構成し、知の冒険と新しい学問領域の創造を目指す。環境棟は大学院研究科の教育研究棟としてPFI手法を採用して整備された。ローコストの条件下で優れた環境建築を追求している。大学の専門家も積極的に参加し事業者と共同して個性的な建築を実現した。
(東京大学 大野秀敏)

撮影／川澄建築写真事務所



千葉市立美浜打瀬小学校
(景観)

建築主：千葉市
設計：株式会社シーラカンズアンドアソシエイツ
施工：新日本・池田工建設共同企業体
所在地：千葉市美浜区打瀬2丁目

撮影／小林浩志



とみうら元気倶楽部
(景観)

建築主：南房総市
設計：株式会社榎本建築設計事務所
施工：株式会社熊谷組 首都圏支店
所在地：南房総市富浦町原岡88-2

撮影／篠澤建築写真事務所



歳替え(鴨川・質蔵のリフォーム)
(景観)

建築主：I氏
設計：野口修アーキテクトアトリエ
施工：ホームドクターハウモン株式会社
所在地：鴨川市

撮影／野口修

第14回 (2007年)



四街道さつき幼稚園
(景観)

建築主：学校法人下志津学園
設計：仙田満 + 環境デザイン研究所
施工：株式会社千葉工業
所在地：四街道市下志津新田2531-9

四街道さつき幼稚園の改築・耐震補強にあたっては、周辺環境との調和を心がけて設計を行っています。この1年で竹林や植栽と馴染む色合いの建物屋根・外壁(緑)、木部(赤)は一層落ち着いた色合いを帯び、また園庭の植栽や園参加で創られたピオトープも大きく成長を見せ、幼児たちの保育、環境教育の場として積極的に活用されています。
(環境デザイン研究所)

撮影／環境デザイン研究所



エルプレシア(ユニバーサルデザイン)

建築主：扶桑レクセル株式会社、有楽土地株式会社
設計：株式会社日建ハウジングシステム
施工：株式会社関組
所在地：八千代市ゆりのき台3-4-4

撮影／扶桑レクセル株



タクボエンジニアリング 東金テクニカルセンター(環境)

建築主：タクボエンジニアリング株式会社
設計：清水建設株式会社一級建築士事務所
施工：清水建設株式会社千葉支店
所在地：東金市丘山台2-7

撮影／石里写真事務所

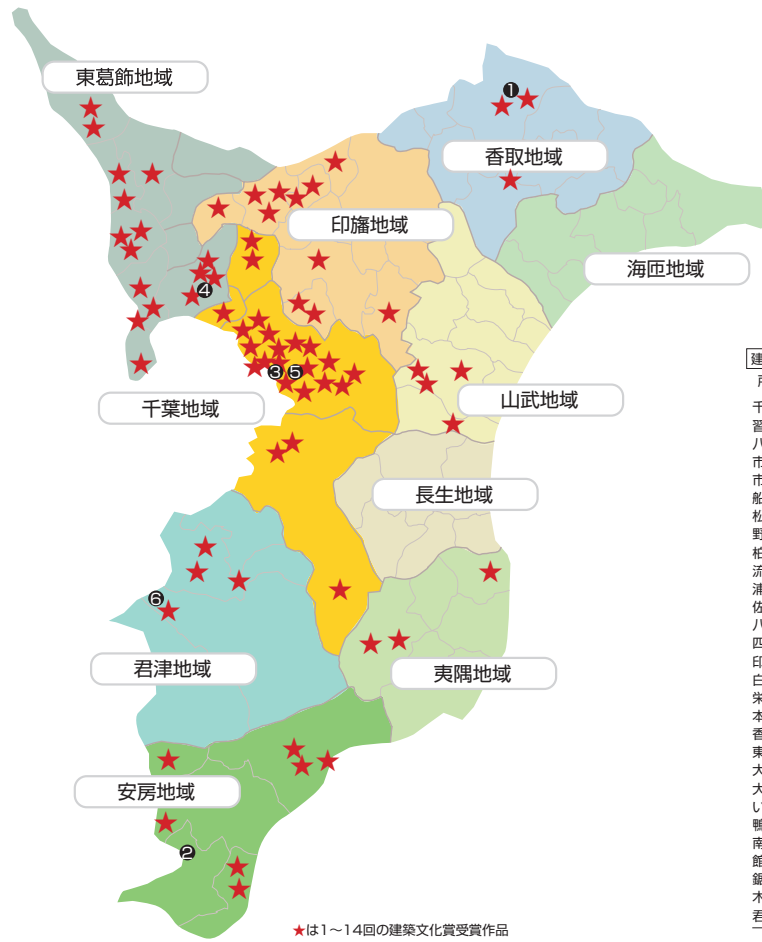
受賞作品の位置

第15回千葉県建築文化賞

- ① 香取市佐原歴史的景観形成地区
- ② 開成学園那古舎
- ③ 竹中工務店東関東支店
- ④ 船橋市立リハビリテーション病院
- ⑤ 千葉県自治会館

第15回千葉県建築文化奨励賞

- ⑥ 君津駅南口トイレ



建築文化賞受賞作品

所在市町村別の数

千葉市	19
習志野市	1
八千代市	2
市原市	3
市川市	2
船橋市	5
松戸市	3
野田市	2
柏市	2
流山市	1
浦安市	2
佐倉市	1
八街市	1
四街道市	2
印西市	3
白井市	1
栄町	1
本埜村	2
香取市	4
東金市	3
大網白里町	1
大多喜町	2
いすみ市	1
鴨川市	3
南房総市	3
館山市	1
鋸南町	1
木更津市	3
君津市	1
計	76

★は1～14回の建築文化賞受賞作品

千葉県建築文化賞の実績(応募点数・受賞作品数)一覧

回数	年度	応募総数	建築文化賞				建築文化奨励賞
			景観に配慮	ユニバーサルデザインに配慮	環境に配慮	計	
1	H6	192	3	3	—	6	—
2	H7	73	3	3	—	6	—
3	H8	83	3	2	—	5	4
4	H9	87	4	1	—	5	5
5	H10	106	2	0	2	4	5
6	H11	101	2	2	2	6	3
7	H12	63	3	1	2	6	4
8	H13	88	2	2	2	6	2
9	H14	71	2	1	2	5	4
10	H15	79	3	2	0	5	4
11	H16	63	1	2	1	4	3
12	H17	92	3	1	2	6	1
13	H18	71	3	0	1	4	4
14	H19	53	1	1	1	3	5
15	H20	57	3	1	1	5	1
1～15	計	1,279	38	22	16	76	45

※1「建築文化奨励賞」は、第3回に創設。

※2「環境に配慮した建築物の部」は、第5回に創設。

※3「ユニバーサルデザインに配慮した建築物の部」は、第12回に創設。(第11回までは、「高齢者・障害者等に配慮した建築物の部」)

千葉県建築文化賞は、多くの皆様の協力に支えられ、回を重ねてまいりました。

その間、県下の広い地域にわたり、76の建築物が建築文化賞を受賞され、それぞれの地域に根付いています。

第16回の作品募集は、平成21年夏ころに行う予定です。皆様方の御応募をお待ちしております。

お問い合わせ先

千葉県県土整備部建築指導課

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1

TEL.043(223)3181 FAX.043(225)0913

社団法人 千葉県建築士会

〒260-0013 千葉市中央区中央4-8-5

TEL.043(202)2100 FAX.043(202)2101